

問1 石見銀山では16世紀前半に「灰吹法」という新しい精錬技術が導入されたことで、銀の生産量が飛躍的に増大しました。この銀が当時の社会や国際情勢に与えた影響についての説明として、最も適切なものを選びなさい。（2026年 島根公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 大量の銀が海外へ輸出されたことで、16世紀後半には日本の銀が世界の産出量の約3分の1を占めるほどになった。 | 2. 生産された銀はすべて国内の寺院や仏像の装飾に費やされ、戦国大名の信仰心を深める役割を果たした。 | 3. 銀は貴重な軍事機密として厳重に管理され、江戸幕府が成立するまで海外の商人と取引されることはなかった。 | 4. 銀の増産によって日本独自の通貨制度が完成し、中国から輸入されていた銅銭は一切使われなくなった。 |
|--|--|---|--|

問2 室町時代後半から戦国時代にかけて、実力のある者が身分の高い者に打ち勝って勢力を広げていく社会風潮が見られました。このような風潮を何と呼びますか。（2022年 熊本県公立入試 類似）

- | | | | |
|--------|--------|--------|-------|
| 1. 惣領制 | 2. 下剋上 | 3. 徳政令 | 4. 寄合 |
|--------|--------|--------|-------|

問3 戦国大名が自らの領国内を独自に統治するために定めた、一族や家臣、領民が守るべききまりを何といいますか。（2017年 大分県公立入試 類似）

- | | | | |
|--------|----------|----------|-----------|
| 1. 分国法 | 2. 武家諸法度 | 3. 御成敗式目 | 4. 慶安の御触書 |
|--------|----------|----------|-----------|

問4 室町時代後期から戦国時代にかけて、実力で領地を拡大した戦国大名たちが、幕府の法律に頼らず自らの領国を統治するために独自に定めた法律を何と呼ぶか、正しい名称を選びなさい。（2026年 大阪公立入試 類似）

- | | | | |
|--------|----------|----------|-----------|
| 1. 分国法 | 2. 御成敗式目 | 3. 武家諸法度 | 4. 公事方御定書 |
|--------|----------|----------|-----------|

問5 戦国時代の社会において、大名の本拠地として栄えた都市の事例として、越前（福井県）の朝倉氏が築き、家臣の屋敷や商人の住まいが計画的に配置されていたことで知られる場所はどこですか。（2016年 千葉県公立入試 類似）

- | | | | |
|--------|------|-------|-------|
| 1. 一乗谷 | 2. 堺 | 3. 博多 | 4. 石山 |
|--------|------|-------|-------|

問6 15世紀後半から約11年間にわたって京都を中心に続き、その後の略年表において「下剋上」の風潮が全国に広まるきっかけとして記される戦乱はどれですか。（2018年 静岡県公立入試 類似）

- | | | | |
|---------|----------|---------|---------|
| 1. 応仁の乱 | 2. 観応の擾乱 | 3. 壬申の乱 | 4. 承久の乱 |
|---------|----------|---------|---------|

問7 戦国大名が領地の生産力を高め、軍事力を強化する（富国強兵）ために行った政策の説明として、正しいものはどれですか。

（2017年 大分県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 大規模な治水・灌漑工事を行って新田開発を進めるとともに、金山や銀山などの鉱山開発を積極的に行った。 | 2. 領内の商人を城下町に集めるのではなく、各地の農村に分散させて住まわせることで、地方経済の安定を図った。 | 3. 農民に「五人組」を組織させて連帯責任を負わせることで、年貢の納入を確実なものにしようとした。 | 4. キリスト教の布教を全国的に推奨することで、ヨーロッパの先進的な武器や文化を組織的に取り入れようとした。 |
|--|--|---|--|

問8 会津地方を治めた蘆名氏や伊達氏が活躍していた日本の戦国時代において、世界で同時に起こっていた出来事として最も適切なものはどれですか。（2018年 福島県公立入試 類似）

- | | | | |
|-----------------------------|--------------------------|-----------------------------|----------------------------|
| 1. ドイツのルターが聖書に基づき教会の腐敗を批判した | 2. アメリカで奴隷制をめぐる南北戦争が勃発した | 3. フランスで市民が自由と平等を求めて革命を起こした | 4. アラビア半島でムハンマドがイスラム教を創始した |
|-----------------------------|--------------------------|-----------------------------|----------------------------|

問9 15世紀末のヨーロッパでは、肉の保存や調味に不可欠な香辛料をイスラム勢力を介さず直接入手することが求められていました。この背景の中、ポルトガルの支援を受け、アフリカ大陸南端の喜望峯を回りインドへ到達する航路を切り開いた人物は誰ですか。（2018年 大阪公立入試 類似）

- | | | | |
|-------------|----------|---------|------------|
| 1. バスコ＝ダ＝ガマ | 2. コロンブス | 3. マゼラン | 4. マルコ＝ポーロ |
|-------------|----------|---------|------------|

問10 戦国時代の甲斐国（現在の山梨県）を治めた武田氏が定めた「甲州法度之次第」のように、各地の戦国大名が領国支配のために定めた法について、その特徴を説明したものとして適切なものはどれか。（2021年 京都公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 家臣同士の私的な争いを禁じる喧嘩両成敗などの規定を設け、大名による裁判権を強化した。 | 2. 全国の公家を統制し、儀式や行事のあり方を細かく規定することで天皇の権限を制限した。 | 3. 鎌倉幕府が定めた御成敗式目をそのまま引用し、全国一律の公平な裁判を保証した。 | 4. 朝廷が定めた律令制度を復活させ、中央集権的な国家体制を再構築することを目指した。 |
|---|--|---|---|